

4上『リーフレットでほうこく』

みんなで解決したい問い

見学したことや調べたことについて、伝わりやすいように組み立てをくふうしたリーフレットを作り、ほうこくしよう。

わかること・できること

- ㊦ ひかくや分類の仕方、メモの取り方、引用の仕方や出典のしめし方を理解する。(2)イ

考えること・表すこと

- ㊦ 書く内容の中心をはっきりさせ、内容のまとまりを考えて記事を作ったり、記事どうしの関係に注意したりして、リーフレットの組み立てを考える。(B)1イ

くふうして学ぼうとすること

- ㊦ すすんで書く内容の中心をはっきりさせて、しりょうや記事を整理し、学習の見通しをもってリーフレットの組み立てを考えようとする。

【第3ステージ (1) 時間】

たしかめ ㊦

〈こんな学習をしてこんな力を!〉

- ㊦ リーフレットを学級で読み合い、伝わりやすい組み立てにするためにくふうしたことをふり返る。

【この単元を通したふり返り】

ゴール

- ・読み手やほうこくする目的を意識して、伝わりやすいリーフレットを作るために、どのようなくふうをしましたか。

【第2ステージ (8) 時間】

たしかめ ㊦㊧

〈こんな学習をしてこんな力を!〉

- ㊦㊧ 自分が調べたい課題を見つける。見学などで取材したことをもとに、自分の課題が解決したかをたしかめ、伝えたいことを決める。
- ㊦㊧㊨ 取材メモの中から記事にするものを選び、伝えたいことがはっきりするようにグラフ・図・写真などを整理したり、記事を関係づけたりして、リーフレットの組み立てを考える。
- ㊦㊧ リーフレットの文章を書くときに必要な言い方をかくにんして、リーフレットを作る。
- ㊦ 作ったリーフレットを読み返し、よりよく伝わるように書き直す。

【第1ステージ (1) 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を!〉

- ㊦ これまでに自分が書いた文章について、どのような点が伝わりやすかったかをふり返る。伝える相手や目的を意識してリーフレットを作るという学習課題を立て、課題解決の見通しをもって学習計画を立てる。

【これまでの学びでこの単元に生かせること】

取材でわかったことを、ほうこくする文章にまとめる活動を通して、伝えたいことをはっきりさせて文章を書く。



小学校4年『リーフレットでほうこく』授業のポイント

単元名 伝わりやすい組み立てを考えて書こう

本教材は、一枚の紙を二つ折りに三つ折りに折り返して作成する、リーフレットという媒体を取り上げています。リーフレットは、パンフレットよりも手軽で、チラシより情報を整理して伝えやすいのが特徴です。教科書では、紙面構成の工夫や、資料の選び方などが具体的に示されています。また、教科書では、リーフレットを家や地域の人に読んでもらうようになっていますが、学級や学年の友達、下級生を読み手とすることもできます。

1 単元で身につけたい資質・能力

本単元では、調べたことについて報告するリーフレットを作ることを通して、伝えたい内容の中心が明確になるように、文章の構成を考えて書く力をつけます。児童は、事前に調べたい課題をもって取材をし、自分が誰に何を伝えたいのかを明確にします。調べたことが相手に伝わりやすいリーフレットを作るためには、紙面の使い方や記事の配置などの構成を考える必要があります。また、伝えたいことに関連したグラフや図、写真などを効果的に使い、リーフレットにまとめることができます。資料を引用する際には出典を明記するなど、引用の仕方についても学びます。

〈リーフレットにする用紙の使い方の例〉

○向き
・縦
・横

○折り方
・三つ折り
・観音折り

○紙面の使い方 (観音折りの中面)
・区別して使う
・一続きにして使う

2 評価規準

評価の観点	評価規準
知識・技能	・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典のしめし方を理解している。…(2)イ
思考・判断・表現	㊦「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。…B(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	・すすんで書く内容の中心をはっきりさせて、資料や記事を整理し、学習の見通しをもってリーフレットの組み立てを考えようとしている。

本単元における子どもたちのゴールイメージ

本単元では、社会科見学などの学習で調べたことを報告するリーフレットを作ります。ラーニング・マウンテンの第2ステージ㊦㊧の段階において、自分の課題が取材によって解決したかを確認します。さらに、取材を通して新たに知ったことも含めて書く材料とし、伝えたいことの中心を決めます。㊦㊧㊨では、伝えるために必要な材料を取捨選択し、引用する資料や読む順番を考えて記事を配置します。㊦㊧では、リーフレットで報告する文章を書く際に必要な表現(「〇〇によると」「～そうです」「たとえば」など)を確認し、文章を書きます。㊦では、読み返して文章を整えます。第3ステージでは、学級でリーフレットを読み合い、振り返りを行います。想定した相手にリーフレットを読んでもらい、感想をもらってもよいでしょう。

読み手に伝わりやすい紙面構成 (二つ折りの中面の例)

解説 メモを仮置きしながら、目的に合う記事の配置を探っていきます。

Aは、報告の内容にはじめと終わりの順序があり、その過程をたどる構成です。

Bは、時間の流れや場所の移動に合わせて思考を周回させたいときに用います。

Cは、一つの主たる資料と、連動した複数の報告を、進行に合わせて読んでもらう構成です。

Dは、読む順序を読み手に委ねても成立する構成で、一つの大きなテーマに基づき、各記事は並列関係になります。

ワンポイント

リーフレットに親しみやすさや緩急をもたせる「吹き出し法」に挑戦!

(1) Q & A方式

(2) 対談方式

解説 (1)では、伝えたい内容を一問一答のかたちで組み立てています。質問に対して、それに答えるように説明しているため、情報がテンポよく、端的に伝わるように表現できます。(2)では、キャラクターの会話によって、情報を伝えています。ストーリー性をもたせるなど、読み手をひきつけるように工夫することで、相手意識をもちながらまとめることができます。

このような伝え方の工夫によって、絵を描くことやお話を考えることが好きな児童は、楽しく文章をまとめることができます。



ラーニング・マウンテンについてはこちらから

ラーニング・マウンテン
— 学びのプランを立てよう —

単元名〔

〕全()時間

4上「リーフレットでほうこく」

みんなで解決したい問題

わかること・できること

考えること・表すこと

くふうして学ぼうとすること

【第3ステージ()時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

【この単元を通した振り返り】



【第2ステージ()時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

【第1ステージ()時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

スタート



【これまでの学びでこの単元に生かせること】